

世羅町商工会 令和元年度経営発達支援事業報告書

【総括】

経営発達支援計画は、小規模支援法に基づく「基本指針」に則り、13事項21項目について記載を求め、個々の事業所が持続的発展をするために商工会として何をすべきなのかを改めて問われたものです。世羅町商工会は平成28年4月22日に経営発達支援計画の認定を受け、計画期間である5年間で掲げた目標数値に到達するよう事業推進を行ってきました。

2016年版小規模企業白書によれば、小規模事業者で経営計画を作成したことがある者は約5割で、作成したことがある者は、作成したことがない者に比べて売上の増加傾向が高いという調査結果も出ており、この結果を基に、小規模事業者の経営計画策定を重点的に支援することとし、平成28年度以降に経営計画を作成した事業者は延べ106社となり、計画策定後の数値実績が把握できた先が55社、そのうち売上が増加したのは34社、粗利益が増加したのは39社ありました。平成29年度より記帳機械化を行っている事業者に対して、試算表を基に経営指導員等が考察を行う取り組みを始め、これをきっかけに、経営計画作成に取り組んだ事業者や税務上のメリットを享受できた事業者もあります。

今後において、国はより一層の「成果」を求めており、計画の実施に当たっては実際的にどのように売上や売上総利益が増加するかで評価されるものと考えます。当会がこれまでに実施してきた経営発達支援計画においては指標としていた項目47件のうちA評価が25と、一定の成果は出しているものの、計画策定時に想定した目標数値が何を集計すべきなのか手探り状態で進めてきた感は否めないことから、新たな経営発達支援計画策定に向けて、現在の数値目標が事業所の売上増進、販路拡大に繋がる方策に繋がっていたかを検証する必要もあると考えます。

そういったことを踏まえて、「成果目標」につながるフォローアップと、市町村との一層の連携体制の構築を行い、最終的な出口と言える売上アップに繋がる支援策を講じていかなければなりません。

令和2年度に向けては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済への影響は計り知れず、既存の経営発達支援計画の枠を超えた包括的な経営支援が求められており商工会としての支援体制の再構築が必要であると考えています。

広島県による事業評価時のKPI（重要業績評価指標）は、平成30年度より利用されないこととなっています。（平成29年度では事業計画策定事業所数、経営分析件数、巡回相談窓口回数
の3項目）

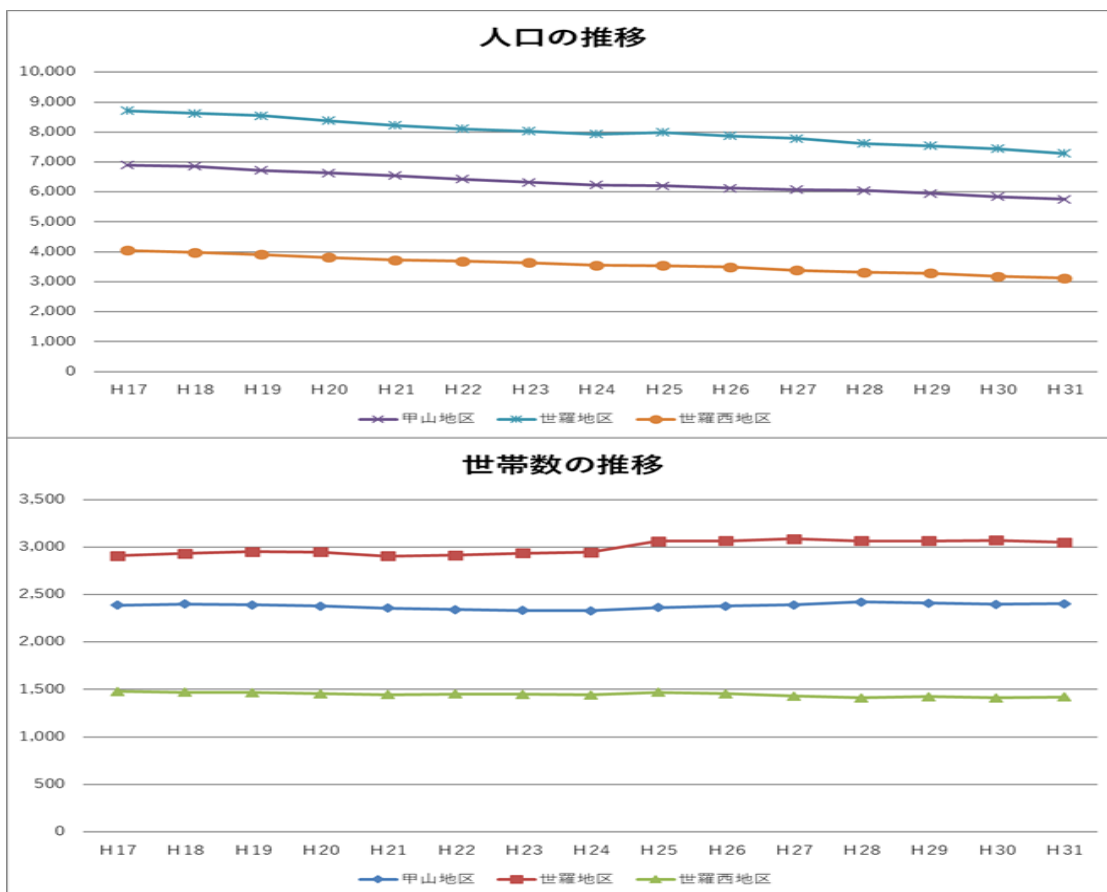
I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

(1) 行政や民間団体の各調査データ及び当会の既存事業より把握される経済動向から、次にあげる項目について調査・分析した。

①世羅町統計データブック（世羅町発行の統計データ 毎年8月更新）

1) 世羅町における旧町別世帯数の推移



世羅町では人口減少が続く一方で、世帯数については増加傾向もみられる。

2) 将来推計人口（未公表）

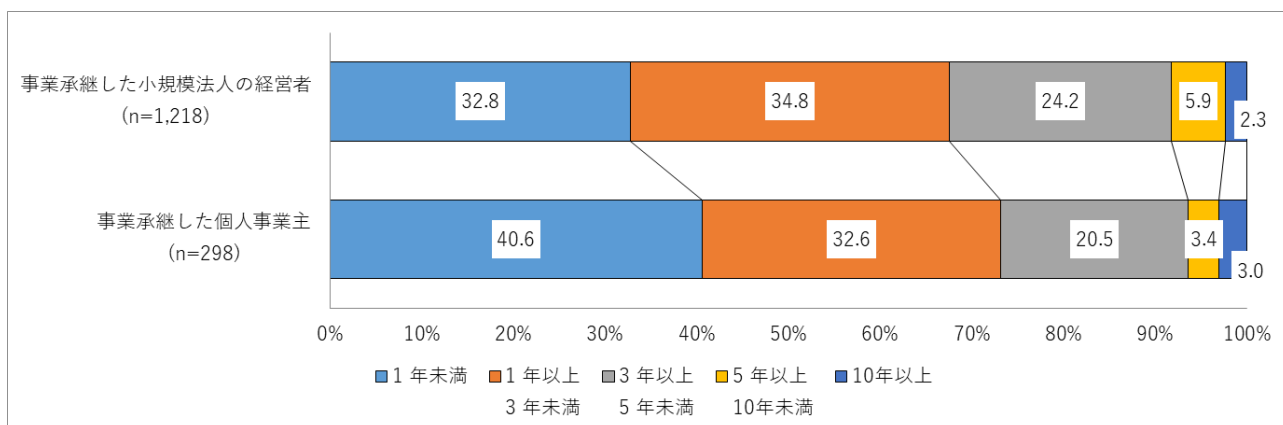
◆平成25年と平成30年発表数値の比較(厚生労働省推計)

人口	総数	14歳以下	15～64歳	65歳以上
2015年	13	△ 32	△ 131	176
2020年	△ 85	△ 34	△ 349	298
2025年	△ 212	△ 80	△ 554	422
2030年	△ 367	△ 139	△ 732	504
2035年	△ 542	△ 235	△ 830	523
2040年	△ 751	△ 318	△ 975	542

平成30年発表の数値では、平成25年に発表数値から更に減少幅が大きくなる見込みが示された。

②小規模企業白書（中小企業庁）

1) 事業承継～経営者引退を決断してから、実際に引退するまでの期間



引退を決断してから実際に引退をするまでの期間では、1～3年での引退した経営者・事業主が2／3以上を占め、承継に対する準備時間が総じて短い傾向が見受けられる。

③ 融資データ（町預託融資・マル経融資）

1) 町預託融資 → 実行件数、実行金額共に減少（件数9件減、金額は48,800千円減）
融資残高は105,661千円増、運用率も16.01%増で269.89%

2) マル経融資 → 決定件数・決定金額共に減少（件数3件減、金額36,200千円減）
年末残高は371,154千円で前年対比6,292千円減

町預託融資・マル経融資共に決定件数・決定金額が前年対比減少となった。

④既存事業データ

1) 記帳データ、確定申告データの調査分析（未公表）

・ 261 件を業種で分類し売上総利益率、人件費率、外注費率、F L 比率、特前所得率を分析

業種	売上増加者率	売上総利益率	人件費率	外注費率	F L 比率	特前所得率
小売業	21.21%	39.07%	12.27%	0.53%		6.42%
飲食業	46.43%	58.29%	7.39%	0.00%	49.09%	6.61%
理美容業	38.46%	90.86%	22.04%	0.00%		22.65%
製造業	21.74%	58.41%	10.22%	3.09%		15.28%
建設業	48.15%	59.26%	7.91%	6.04%		26.34%
その他	29.31%	90.49%	10.41%	3.13%		20.01%

F L 比率はF O O D（材料費）とL A B O R（人件費）の合計が売上高に占める割合

※飲食業・その他の業種で売上増加者率が前年を上回った。

特前所得率では、理美容業・製造業が前年を下回った。

建設業は、売上総利益率が 14%以上の減少となった。

2) 世羅とくとく商品券事業

消費税率引き上げに伴い、プレミアム付き商品券事業を実施したため、未実施。

（目標に対する実績、達成度及び評価）

	目標	実績	達成度	評価
世羅町統計データブックの調査・分析	1 回	1 回	100.0%	A
小規模企業白書の調査・分析	1 回	1 回	100.0%	A
町預託融資の調査・分析	1 回	1 回	100.0%	A
マル経融資の調査・分析	1 回	1 回	100.0%	A
記帳業務データの調査・分析	1 回	1 回	100.0%	A
確定申告業務データの調査・分析	1 回	1 回	100.0%	A
世羅とくとく商品券事業の調査・分析	1 回	0 回	0.0%	E
その他統計データの調査・分析	1 回	0 回	0.0%	E

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

(事業内容)

(1) 窓口・巡回業務で受ける各種経営相談

- ・全職員で対応 窓口相談 1,758 回、巡回相談 1,740 回、創業窓口 54 回、創業巡回 13 回
- ・540 事業所を巡回（全会員 616 のうち定款会員を除く 599 会員に対し 90.01%の浸透率）

(2) 経営分析セミナーの開催

- ・令和元年 11 月 18 日開催 参加者 8 名
タイトル「事業承継を考える～経営分析編～」

(3) 専門家による個別相談会の開催

- ・人材育成助成金等を活用した専門家派遣 23 回
- ・個別相談 8 回、活用事業者延 12 名

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
窓口、巡回訪問件数	3,600 件	4,067 件	127.1%	A
経営分析セミナー開催数	1 回	1 回	100.0%	A
経営分析セミナー参加者数	10 名	8 名	80.0%	B
専門家による個別相談会開催数	8 回	8 回	100.0%	A
専門家による個別相談会・参加者数	30 名	12 名	40.0%	D
経営分析に係る専門家派遣回数	20 回	23 回	115.0%	A
経営分析件数	120 件	123 件	102.5%	A

3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

(事業内容)

(1) 事業計画策定セミナーの開催

- ・令和元年11月25日開催 参加者7名
タイトル「事業承継を考える～経営計画策定編～」

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
事業計画策定セミナー開催	1回	1回	100.0%	A
事業計画策定セミナー参加者数	10回	7名	70.0%	C
策定に係る個別支援回数	210回	182回	86.7%	B
事業計画策定事業所数	36件	33件	91.7%	B
うち新規創業(第二創業除外)	6件	8件	133.3%	A

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

(事業内容)

(1) 各種支援制度利用件数 43件39者(重複あり)

- ・町持続化：15者 ・町創業：8者 ・持続化：8者
- ・先端設備等導入計画：7者 ・その他：7者

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
フォローアップ実施件数	80社	868社	107.5%	A
フォローアップ実施回数	284回	179回	63.0%	C
各種支援制度利用件数	30件	43件	143.3%	A
経営革新承認件数	3件	0件	0.0%	E
町預託融資実行件数	130件	116件	89.2%	B
マル経融資実行件数	12件	18件	150.0%	A

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
商品券事業の調査分析	1回	0回	0.0%	E
道の駅世羅の利用顧客データの調査分析	1回	0回	0.0%	E
新聞等の統計データの調査分析	1件	0件	0.0%	E
個別需要動向調査実施件数(事業者)	36件	30件	83.3%	A

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

(事業内容)

(1) 売れるものづくり⇒「逸」品開発(特産品開発・メニュー開発)

- ・特産品開発 「松茸塩」のパッケージ・ロゴ等開発支援

(2) 売れる場所づくり・場所さがし⇒「逸」の販売チャネル創出

- ・販路拡大支援事業利用事業者6社

(3) 売れる人・仕組みづくり⇒「逸」の販売促進

- ・令和元年9月13日開催 参加者12名
タイトル 「”選ばれるお店になる!” 繁盛店POPセミナー」
- ・令和2年2月21日開催 参加者25名 ※一社) 世羅町観光協会主催
タイトル 「商品力向上セミナー」

(4) 連携先支援機関等の実施する事業の活用⇒「逸」サービス・「逸」技術の販路拡大

(5) 情報発信・プレスリリースに関すること⇒「逸」の情報発信

- ・全国商工会連合会「観光宝探しノート」へ掲載8社
- ・経済レポートへの記事掲載
- ・商工会ホームページ、フェイスブックへの情報アップ

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
特産品開発数	1件	1件	100.0%	A
商談会・展示会・物産展等への延べ参加事業者数	10社	6社	60.0%	C
商談実施回数	10回	0回	0.0%	E
販売促進セミナー	1回	2回	200.0%	A
HPによる情報発信回数	24回	1回	4.2%	E
広報誌・パブリシティー等への掲載回数	12回	13回	108.3%	A

Ⅱ. 地域経済の活性化に資する取組

1. デマンド交通事業による活性化

(事業内容)

- (1) 行政（企画課、福祉課）、社会福祉協議会、運行事業者 3 社、商工会による運行会議を開催し、利用者ニーズに合った運行体制の再構築により利用者増加をめざした。
- (2) 利用者が増えることで、商業施設等における消費金額が増加することが推測され、地域商業の活性化につながる。

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
利用者数	28,000 人	29,214 人	104.3%	A

2. 世羅とくどく商品券事業による活性化（実施無し）

(事業内容)

- (1) 世羅とくどく商品券事業の実施にあたり、特別委員会において 2 回開催し本事業の実施要領を検討し運営に当たった。
- (2) 全ての商品券取扱事業所において利用されるように、スタンプラリーを実施しているものの、前年実績より 6 件減少となった。

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
利用事業所	件	件	%	

3. 農商工観連携による活性化（実施無し）

(事業内容)

町内版のビジネスマッチングフェアとしての「農商工観連携セミナー（仮称）」を尾道市農業協同組合と世羅町観光協会との共催により開催する計画であったが、未実施となった。

また世羅高原 6 次産業推進協議会に平成 28 年度より参画していることから、当該事業実施に向けた良い協議の場になると考える。

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
セミナー数	1 回	0 回	0%	E
連携数（累計）	1 件	0 件	0%	E

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
日本政策金融公庫との連携	2回	2回	100.0%	A
町内金融機関との連携	2回	1回	50.0%	D
尾道税務署との連絡協議会	1回	1回	100.0%	A
備南地区商工会の職員全体会議	1回	1回	100.0%	A
世羅町観光協会との連携	2回	2回	100.0%	A

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

(1) 広島県商工会連合会及び広島県商工会職員協議会主催の研修への参加

研修名	参加者	研修のねらい
管理職養成研修	事務局長	事務局運営
相談能力向上研修	課長	マネジメント能力向上
相談能力向上研修	課長補佐	相談能力の向上
商工会専門スタッフ研修	経営指導員	指導能力の向上
経営革新支援研修	経営指導員	経営支援能力向上
職員基本能力研修	指導職員・一般職員	経営支援研修
職員パワーアップセミナー	全職員	経営支援事例の共有

(2) 中小企業大学校主催の研修への参加

研修名	参加者	研修のねらい
円滑な事業承継・事業廃止の進め方	課長補佐 大谷 貴紀	円滑な事業承継・事業廃止についての支援能力向上

(3) 首都圏大型展示会等への視察研修への参加

視 察 先	参加人員	視察研修のねらい
	名	

(4) 支援ノウハウの共有体制強化

- ①支援を行う際に、職種の異なる職員がチームを組み、スキルアップを図った
- ②補助金申請及び事業実施に際し、指導員と指導職員が連携し事業推進を行った

(5) 業務終了後に職員全員を対象に、下記の内容等についての研修会を開催した。

- ①令和元年度世羅町商工会経営支援メニューについて
- ②先端設備等導入計画に係る認定申請書について
- ③「まるせら」へのデータアップの方法について

3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

- (1) 世羅町、日本政策金融公庫、町内金融機関、中小企業診断士、一般社団法人世羅町観光協会、広島県商工会連合会、商工会により組織する事業評価委員会において、成果の評価を行い、評価結果を委員会において比較検討し見直しをするためのP D C Aサイクルの仕組みを作り年間2回開催した。
- (2) 商工会理事会において、委員会での評価・見直しを報告して承認を受け方針を決定し、総代会へ報告する予定。
- (3) 毎年度の事業終了後に、中国経済産業局、広島県、世羅町へ報告する予定。
- (4) 事業の進捗状況・評価・見直しの結果を常時閲覧できるように商工会報「まるせら」及び商工会公式ホームページ (<https://marusera.com>) にて広報する予定。